

男性不妊症の診断・治療に関する研究のお知らせ

帝京大学医学部附属病院では以下の研究を行います。

本研究は、倫理委員会の審査を受け承認された後に、関連の研究倫理指針に従って実施されるものです。

研究期間：2021年5月31日～2030年3月31日

〔研究課題〕

男性不妊症の評価および治療成績に関する後ろ向き研究

〔研究目的〕

男性不妊症の病態を解明し、現在の診断方法、治療方法、治療成績を明らかにし、より正確な診断、安全で有効な治療法を検討することを目的としています。

〔研究意義〕

帝京大学医学部附属病院では、泌尿器疾患の原因を明らかにし、正しく診断し、より有効で安全な治療法を開発することを目標として、さまざまな研究を行っています。このような研究活動の基礎になるのが、実際に当科を受診された患者さんの診療録(カルテ)の情報です。患者さんの診療録に記録されている各種の臨床情報、検査結果、治療内容と経過などの医学情報は、病気やその治療法の解明のために大変貴重なものです。そこで、当科では、過去に当院を受診された患者さんを対象として、診療録に記録されている情報を解析し、患者さんの診療に役立つ情報を取得し、医学の発展に貢献したいと考えています。

社会的に問題となっている不妊症ですが、不妊カップルの3分の1は男性単独に原因があり、男女ともに原因があるケースを含めると実に半数が男性因子のために不妊症になっています。本研究では、過去に男性不妊外来を受診した症例の診療録を後ろ向きに調査し、患者背景、評価・治療方法、治療経過、従来の治療との比較などを行い、男性不妊の患者さんの今後の治療成績の改善に役立つ知見を得ることを目的としています。

〔対象・研究方法〕

2015年4月から年々から2021年3月31日までに帝京大学医学部附属病院泌尿器科を受診され、男性不妊の診断となった患者さんが対象です。診療記録を閲覧し、患者様の個人情報を除外して、別の番号で匿名化し、背景(年齢、性別身長体重、既往歴・基礎疾患)、自他覚所見、バイタルサインを含む診療経過、血液尿検査結果、精液検査結果、画像診断結果、治療方法(内服治療、外科手術の種類、手術介入のタイミング等)、治療経過(周術期経過、入院日数、合併症、精液所見)等の医学情報を調査票に記入し、各種の統計解析を行います。研究者は帝京大学医学部附属病院に所属する者に限られます。過去の診療録を調査するだけの研究ですので、患者さんの生命・健康に直接影響を及ぼすことはありません。

〔研究機関名〕

帝京大学医学部附属病院 泌尿器科

〔個人情報の取り扱い〕

氏名・生年月日・住所・電話番号・ID 番号などの個人情報はすべて匿名化されてから解析されますので、個人情報がもれることはありません。研究成果は、医学の発展のために学会発表や学術論文発表などをさせていただきますことはありますが、その際も個人の特定が可能な情報はすべて削除いたします。また、研究対象に該当するか否かにより、実際の診療内容に影響はすることはありませんし、研究にご協力していただけない場合でも診療上の不利益を受けることはありません。もし研究対象者に本学学生・教職員が含まれていたとき、研究参加の有無・研究結果は成績や評価とは無関係です。研究終了後に収集した個人情報を倫理委員会事務局に提出し、帝京大学臨床研究センターにて10年保管の後に廃棄します。

対象となる患者様で、ご自身の検査結果などの研究への使用をご承諾いただけない場合や、研究についてより詳しい内容をお知りになりたい場合は、下記の問い合わせ先までご連絡下さい。

ご協力よろしくお願い申し上げます。

問 い 合 わ せ 先

研究責任者：木村将貴(帝京大学医学部附属病院泌尿器科学講座 講師)

研究分担者：中川徹(主任教授)、山田幸央(講師)、金子智之(講師)、萩原奏(助教)、吉村徹(助教)

住所：東京都板橋区加賀 2-11-1 TEL:03-3964-1211(代表)〔泌尿器科内線 33709〕